

休日施工に常温合材推奨

工場の土日閉所後押し

日合協

日本アスファルト合材協会（今泉保彦会長）は、東京地区のアスファルト合材工場で推進されている完全土日閉所の支援を目的に、土日工事における常温合材の積極活用を推奨する。合材工場の休日閉所は着実に進展しているものの、休日施工のニーズは依然として存在し、少量の合材出荷依頼に対応するため、やむを得ず土日に工場を稼働するケースが散見される。その打開策として、車道や歩道の本舗装にも使える「重交通対応・全天候型常温合材」の使用を促す。ポットホールの補修材という従来イメージの払拭も狙う。

補修材のイメージ払拭

日合協は、日本道路建設業協会（西田義則会長）と共同で、2024年1月に「働き方改革推進宣言」を発表した。具体的なアクションの一つとして、日合協団体会員の東京アスファルト合材協会は、東京地区への出荷可能エリアに位置する1都3県の29工場を対象に、土日祝日など「休業推進日」の出荷を完全予約制に切り替えた。

予約制導入は、路上工事の舗装復旧のような少量の合材出荷に対応するため、従業員が土日祝日に出社・待機を余儀なくされている状況をなくすのが目的。都市部では、平日に比べて人出が少ない土日祝日に、小規模工事がたくさん行われる傾向があり、休日施工への対応が休暇取得の妨げとなっている。

理者と協議し、使用の了承を得てもらう。

日合協会員企業の各常温合材製品は、道建協の道路試験所での性能試験で、規格値を十分に満足していることを確認済みだ。常温ホイールトラッキング試験（耐流動性）、

一軸圧縮試験（圧縮強度）、簡易ポットホール走行試験（耐摩耗性、耐水性）の全てで、東京都建設局土木材料仕様書「第4.2.2条重交通対応・全天候型常温合材」の品質規格に適合している。

日合協によると、高品質な常温合材の活用は、工場の完全土日閉所に貢献できる。施工会社にとっても、常温合材を自社倉庫などにストックしておくと、緊急・休日施工への備えになるほか、合材工場への引き取り時間が省けるなど、作業時間の短縮にもつながる。さらに、災害対応では、加熱合材のような温度低下に伴う出荷範囲の制限が

なく、全国どこにでも搬送可能という特長が災害対応力の強化に寄与する。

将来の担い手確保や時間外労働規制への対応を目的に、建設産業界では土日閉所や週休2日の取り組みが各分野で進められている。地域によっては、生コンクリート工場の完全土日閉所により、休日の生コン打設作業が不可能になったところもあるという。さまざまな事情から、休日施工をせざるを得ないケースが今後もなくなりえないのは事実で、常温合材という品質にも優れた代替材料の存在は、工事現場の柔軟な運営にも役立つ。

